聞き手　フリーアナウンサー 政井マヤ氏

次世代の街づくりへ

「働きたい街」二子玉川の未来を語る。

多摩川のほとりで、都心とは一線を画す魅力を放つ街「二子玉川」。その街が昨年3月の「二子玉川ライズ」第1期事業のグランドオープンによって、新たなにぎわいを見せはじめている。そして今年1月、2015年の完成を目指し第２期事業が着工した。フリーアナウンサーの政井マヤさんが東京急行電鉄の野本弘文社長に、その構想と街の展望について話を聞いた。

東京急行電鉄社長　野本弘文氏

これまでなかった価値の提供が生んだ街の活気

政井　「二子玉川ライズ」第1期事業がグランドオープンして間もなく1周年を迎えますが、二子玉川の街はどのように変化してきたとお感じですか。

野本　若い方やお子様連れの女性、オフィスワーカーなど、新たなお客様にもお越しいただけるようになり、その年齢層も広がりを見せています。以前にも増して街は活気にあふれていて、二子玉川全体の盛り上がりに貢献していけることをうれしく思っています。

政井　街に新しく訪れる人々は、どのような点に魅力を感じて足を運ぶ人が多いのですか。

野本　「二子玉川ライズ」第1期事業の開業により、「デイリーユースのニーズを充足するバラエティー豊かな商業店舗の誘致」「オフィスという新たな機能」など、これまでになかった価値を提供することができ、それが来街者数の増加につながっています。

政井　今日はライズ・オフィス内に設けられた「カタリストBA」というスペースでインタビューしていますが、これまでのオフィスとはまったく違ったイメージのとてもすてきな空間ですね。

野本　ここは「知の交差点」「個人と組織の交流による創発」をコンセプトとしたスペースです。クリエーターや社会起業家たちが集い、シェアオフィスによる「コ・ワーク（協業）」や、スタジオでは多様な視点から価値を生み出すオープンイノベーションによるセッション、ワークショップを行うなど、新しい事業やサービスのアイデアが語られる場としてご活用いただいています。

また、ここは二子玉川の街をモデル地域として活動している「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム」という国内主要企業で構成される団体の活動拠点になっています。「国際競争力のある創造的産業育成に果たすべき都市の役割」をテーマに、この団体から様々なプロジェクトが生み出されています。例えば、スマートフォンや携帯電話の位置情報を活用した街中情報サービスを検討する「ロケーション・クルーズ・プロジェクト」では、街回遊支援や施設情報発信などの複数のアプリケーションが実際に展開されており、「二子玉川ライズ」を起点に新しい試みがスタートしています。

それぞれの価値観で楽しめる魅力ある街へ

政井　今年、いよいよ第2期事業が着工しましたが、どのような構想の下に事業は進んでいるのでしょうか。

野本　建物の概要は、施工面積は約3・1㌶、延床面積約15万6000平方㍍、地上30階地下2階建てです。今回の事業では、第1期事業の約3倍の床面積を持つオフィスがその中心で、環境に優しい設計によって、昨今の防災意識の高まりにも配慮した計画です。オフィスワーカーの人々にも街を楽しんでいただけるよう、新たにシネマコンプレックスやホテル、フィットネスクラブ、スタジオなども加わります。また、世田谷区によって「二子玉川ライズ」東側に約6・3㌶の（仮称）二子玉川公園」が整備される予定で、多摩川と共に豊かな自然を間近に楽しめるようになります。第2期事業の完成によって「訪れる誰もがそれぞれの価値観で楽しめる新しい二子玉川」という新たな魅力を放ってくれるはずです。

創造性に富む「日本一働きたい街」を目指す

政井　二子玉川は新たなオフィス街としてどのようなポテンシャルを秘め、それをどのように発展させていこうとお考えでしょうか。

野本　日本が世界から評価されていて、これから一番大切にしなければいけないものは「創造力」だと思います。昔から二子玉川近辺には映像をはじめとしたクリエーターたちが拠点を構え、ほかにも創造性が豊かな企業が数多くあります。その創造性に富んだ地域文化を土壌に、緑豊かな自然や人々の交流が感性を活性化させ、日本の創造力や発想力の源になるものと確信しています。

政井　渋谷から電車でわずか10分の立地に、都心では得られない恵まれたオフィス環境が整うのは女性にとっても魅力的なことだと思います。

野本　本格的な高齢化社会に突入する日本にとって、働く女性が輝くことができる環境を整えることはとても重要なことです。これからは二子玉川で働くことがファッショナブルで誇らしく思えるような付加価値づくりをしていきたいと考えています。

政井　二子玉川の街の将来像をどのように思い描いていますか。

野本　まず、豊かな自然環境との共生や街全体の様々な機能の融合により、働く人の創造力が躍動するようなオフィス環境を提供し、都心のオフィス街では実現できないワークスタイルのイノベーションを提案しながら、「日本一働きたい街＝二子玉川」の実現を目指していきます。

オフィスユーザーの声

サンエー・インターナショナル 執行役員
営業本部 店舗開発部長 兼 事業開発部長
濱田博人氏

二子玉川への移転を機に働き方を大きくチェンジ

「二子玉川ライズ」にオフィスが移転したことで、大きく変わったのは時間の使い方も含めた働き方です。渋谷まで電車で10分とはいえ都区内最西端という意識から、私はこのオフィスに来たことをきっかけに外回りの仕事を夕方に集中させるようになりました。これまでの職場は青山にあり、さまざまな場所へアクセスしやすい半面、時間の使い方を気にすることもほとんどありませんでした。今思えば周辺の同業者たちの働き方に流されていたのかもしれません。現在は、社内ミーティングは午前中、そして来客の予定は先方の都合がつくようならお昼前後にお願いし、15時以降の時間を取引先への訪問に使っています。

こうした働き方の変化によって仕事や生活にリズムやめりはりがつき、オフタイムも充実するようになりました。スマートフォンやタブレットPCで家や外出先で連絡事項が処理できることも働き方を変える要因の一つだと思います。有意義に使いこなそうとする発想ができなかったと思います。

仕事の時間配分が整理できたことで心のゆとりも生まれました。多摩川やその周辺の緑地が一望でき、天気の良い日には富士山も見えるオフィスで、ゆっくり考え事を整理できる貴重な時間も持てるようになり、スタッフとのミーティングも前向きな議論が多くなったように感じます。

一方で、「二子玉川ライズ」やコンパクトなエリアで充実する商業施設群は二子玉川の大きな魅力で、ランチをはじめとする様々な機会に街の快適さや楽しさが実感できます。

第2期事業が完成し、二子玉川にファッション関連のオフィスユーザーが増えれば、都市部では考えられなかったような交流や新たな刺激が生まれるのではないかと期待しています。これからどのようなオフィス街へと進化していくのか今から楽しみです。

オープンイノベーションが人・街・社会・ビジネスを変えていく「クリエイティブ・シティ・フォーラム2012」が二子玉川で開催！

「国際競争力のある創造的産業育成に果たすべき都市の役割」をテーマに、二子玉川をモデル地域として活動する国内主要企業で構成される団体「クリエイティブ・シティ・コンソーシアム」の主催による「クリエイティブ・シティ・フォーラム2012」が2月22日、二子玉川の玉川髙島屋S・Cホームページ http://creative-city.jp/ アレーナホールで開催されました。

「エッジシティにおけるクリエイティブワークスタイル」「都市における生物多様性とは？」「位置情報サービスが暮らしを変える」の3つのトークセッションが行われ、二子玉川がこれからクリエイティブシティとして目指すべき新たな方向性について議論が行われました。

特に3つ目のトークセッションで紹介された「ロケーション・クルーズ・プロジェクト」は、産学連携のプロジェクトチームによって位置情報・行動履歴等を活用したiPhoneアプリ「ニコトコ」やAndroidアプリ「aitetter」「ぷらサポ」など、複数の新サービスが実際に提供されはじめた事例として来場者の注目を集めました。

様々な機能が融合し新たな価値を創出

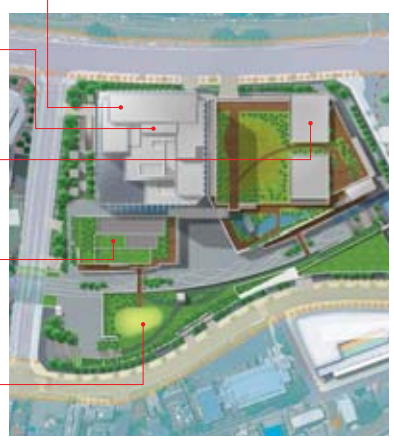
HOTEL
タワー高層部に、レストランや宴会場も備えた二子玉川初の本格的なホテルが誕生します。この街を訪れる人やオフィスのニーズに応えます。

OFFICE
30階建てタワーの1階～27階がオフィス。多摩川を望むのびやかな環境の中でクリエイティブに働く、新しいワークスタイルを発信します。

CINEMA
かつて「二子劇場」があった場所に、10のスクリーンと最新設備を備えたシネマコンプレックスが誕生します。

STUDIO
Ⅱ-a街区中央の広場に面して放送・収録機能を備えた大規模スペース。ここから多様な情報を発信していきます。

FITNESS
2フロアにプール、スタジオ、マシンなどを配したフィットネスクラブが誕生します。二子玉川ライズに集い、暮らす人々の健康づくりをしっかりとサポートします。



二子玉川ライズ・ショッピングセンター 開業1周年キャンペーン
「ライズ サプライズ デイズ 1st アニバーサリー」

2012年3月15日（木）～4月15日（日）
期間中、イベントやプレゼント抽選会を開催
http://sc.rise.sc/

「ロケーション・クルーズ・プロジェクト」による位置情報サービス

・街歩き情報サービス「ニコトコ」（iPhoneアプリ/東急電鉄）
・施設混雑度共有サービス「aitetter」（Androidアプリ/慶応義塾大学大学院システム・デザイン・マネジメント研究科）
・施設内ナビゲーションサービス「ぷらサポ」（Androidアプリ/国際航業）
※詳しくはhttp://creative-city.jp/locationcruise/

東京急行電鉄　東急不動産
お問い合わせは、東京急行電鉄 都市生活創造本部 ビル事業部 二子玉川ライズ運営部 企画担当
TEL:03-3709-1097（受付時間:平日9:30～18:00）
企画・制作＝日本経済新聞社クロスメディア営業局
広　告